

事務事業マネージメントシート

作成日 平成27年05月11日

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業			担当	健康福祉部 児童家庭課 児童家庭係				
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8131			
施策名	2	子育て支援の充実			<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成24年度~)				年度
予算科目	1.一般会計	3.民生費	2.児童福祉費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)				

[事業概要]
『子育ての手助けをしてほしい人(依頼会員)』と『子育てのお手伝いをしたい人(提供会員)』が会員となり、市民同士でお互いに助け合う育児の相互援助を行う組織の運営
[援助できる内容]
・保育園・幼稚園への送迎や、園の開始前・終了後の子どもの預かり
・学校の放課後・学童保育終了後の子どもの預かり
・保護者が病院・学校行事・冠婚葬祭・買物等に出かけるときの子どもの預かり
[実施主体] 市(真岡市ファミリー・サポート・センター) サービス利用仲介調整、保険加入、提供会員研修・交流会開催
[利用料金] 1時間当たり700円(平日の午前7時~午後7時以外800円)

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
26年度実績		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
・会員登録	市民 市(センター)	ア: 依頼会員数	人		83	156	198	228
・利用申込	依頼会員 市(センター) 提供会員	イ: 提供会員数	人		38	45	52	62
・利用打合	提供会員 依頼会員	ウ: 両方会員数	人		2	2	5	10
・利用	提供会員 依頼会員	エ: 会員数(合計)	人		123	203	255	300
・利用料の支払	依頼会員 提供会員	オ: 支援を受けた児童の延人数	人		74	304	440	520
・実績報告	提供会員 市(センター)							
・保険の加入	市(センター) 保険者							
・提供会員研修	1回							
・交流会開催	1回							
27年度計画	前年同様							
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
生後6ヶ月児から小学校6年生の子と保護者		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
・サービス利用することで、保護者の子育て負担を軽減する。		ア: 対象乳幼児・児童数	人		9,738	9,612	9,558	9,500
		イ: 登録乳幼児・児童数	人		142	245	376	440
		ウ: 登録割合	%		1.5	2.5	3.9	4.6
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		エ: 支援を受けた児童の延人数	人					
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)		⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
・保護者の子育て負担が軽減されることで、保護者が仕事と育児を両立し、安心して働くことのできる環境がつくられる。		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		ア: 登録乳幼児・児童数	人		142	245	376	440
		イ: 支援を受けた児童の延人数	人		74	304	440	520
		ウ: 利用割合	%		52.1	124.1	117.0	118.2
		エ: 会員数(合計)	人					
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移								
		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		ア: 子育ての負担が軽減された割合	%		100	100	100	100
		イ:						
		ウ:						
		エ:						
		オ:						

(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	551	342	339	0
	事業費計(A)	千円	0	551	342	339	0
人件費	正規職員従事人數	人	0	1	1	1	0
	延べ業務時間	時間	0	300	300	300	0
	人件費計(B)	千円	0	1,261	1,219	1,266	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,812	1,561	1,605	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	「第10次市勢発展長期計画」「次世代育成支援行動計画」にH26年度までの事業開始を位置づけられていた事業で、H23.1に実施要綱を制定し、H24.7よりサービス利用を開始した。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	利用についてはリピーターが多い。 平成27年度から提供会員研修について、栃木県が実施する「子育て支援員研修事業」により実施する。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	急用の時などに子どもを預けられるので便利との声がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 「第10次市勢発展長期計画」、「次世代育成支援行動計画」に子育て支援の充実のため、事業開始を位置づけられていた事業で、市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 子育て支援の充実は、市の責務のため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 6月児から小学校6年生の保護者であれば、誰もが会員となり、サービス利用ができるので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 6月児から小学校6年生の保護者であれば、誰もが会員となり、サービス利用ができるので向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない に子育て支援の充実のため、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の運営経費で実施しており、削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しており、削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 6月児から小学校6年生の保護者であれば、誰もが会員となり、サービス利用ができるので公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								